

カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタの作成

このドキュメントはカスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタの作成方法について説明しています。このドキュメントは以下のセクションを含んでいます。

- カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する理由
- カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する手順
- 実行時に何がおこるか？

このドキュメントで説明されている機能は、リリース 9.1C 以降で使用可能です。

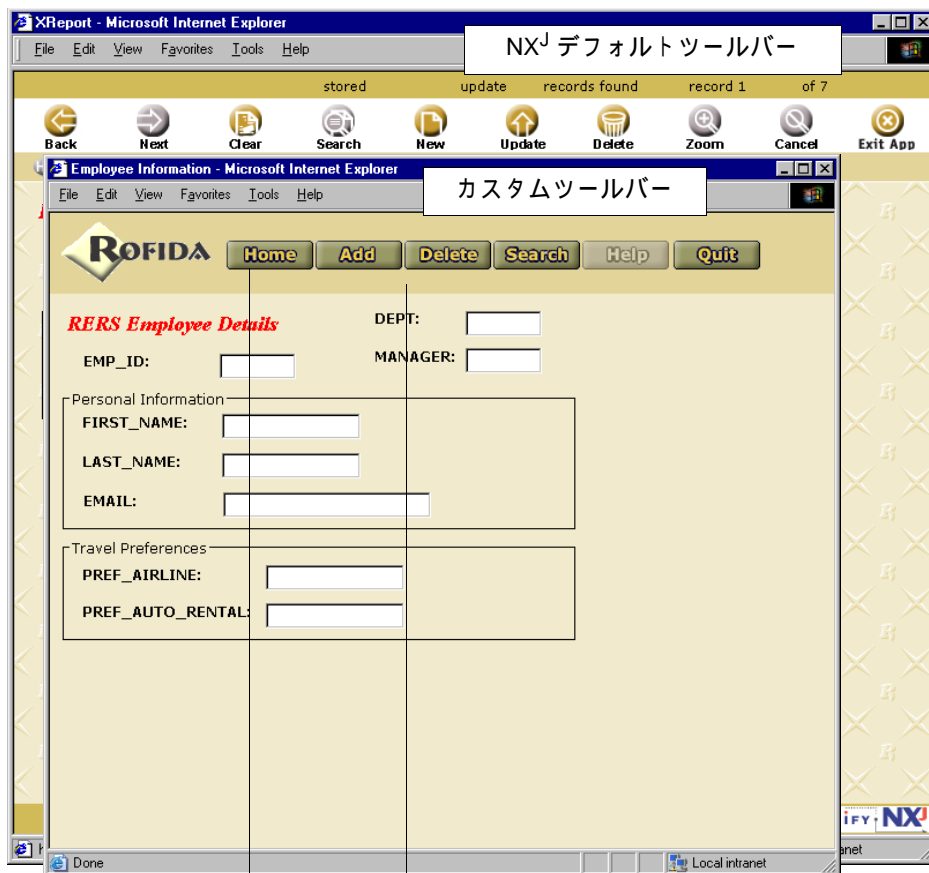
カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する理由

カスタムツールバーを作成すると、アプリケーションユーザーに対して使用可能なコマンドを変更することができます。例えば、次ページの画面のように、レコードの検索だけを行うアプリケーションにはレコードの更新機能は必要なく、ズーム機能が必要ではないアプリケーションにはズーム ボタンを提供する必要がありません。

カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する他の理由は以下の通りです。

- 会社のロゴを Unify から自社のものに変更する。
- ツールバーボタンや、ヘッダ、フッタのテキストのローカライズバージョンを提供する。ローカライズに関する詳細は、『NX^J アプリケーションのローカライズ』を参照してください。
- 個別のヘッダ、フッタを作成することによって、アプリケーションの look and feel をさらにカスタマイズする。

以下の画面は、デフォルトのNX^J ツールバーとカスタマイズしたサンプルを示しています。



ホームページに
戻る ズーム機能はありま
 せん

カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する手順

カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する手順は、最初にツールバー、ヘッダ、フッタとして動作させる小さな JSP ページを作成します。それからツールバー、ヘッダ、フッタを含むためにアプリケーションの look & feel 定義かフォームの look & feel 定義のどちらかを更新します。

このセクションは、以下のタスクを説明しています。

タスク 1: カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する

タスク 2: 作成されたツールバー、ヘッダ、フッタとアプリケーションの関連付け

タスク 1: カスタム NX^J ツールバー、ヘッダ、フッタを作成する

JSP ページを作成するためには、以下のステップに従ってください。

1. Static Content フォルダを右クリックして、**新規作成** > **JSP Page** を選択します。

空の JSP ページがデザインパネル上に開かれます。

2. プロパティタブをクリックして、NX^J Toolbar チェックボックスを設定します。

このプロパティは、プロパティの Visual グループにあります。

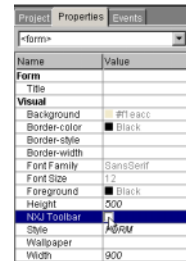
3. ツールバー、ヘッダ、フッタの希望する大きさにあわせて JSP ページのサイズを変更します。

サイズを変更するには、グラバーをクリックアンドドラッグするか、プロパティパネルの数値を変更して、高さと幅を指定します。

4. ボタン、ラベル、リンク、その他のコントロールを JSP ページに追加します。

ボタン、ラベル、リンク、その他のコントロールに関する詳細は、『Unify NX^J 開発者ガイド』の第 5 章「コントロールの使い方」を参照してください。

以下は、カスタムツールバーの例です。



- ボタン、ラベル、リンクコントロールにコマンドを割り当てるには、コントロールをクリックして、プロパティパネルの Command の値フィールドをクリックし、コントロールに割り当てるコマンドを選択します。
- ファイル > 保存** を選択して、JSP ページを保存します。
ファイルは希望する名前で保存することができます。ファイルは Static Content フォルダに保存されます。

タスク 2: 作成されたツールバー、ヘッダ、フッタとアプリケーションの関連付け

Look and Feel エディタを使用して、作成したツールバー、ヘッダ、フッタをアプリケーションに関連付けるには、以下の手順に従ってください。

- プロジェクトパネルのブラウザビューで、使用したい look & feel 定義をクリックします。

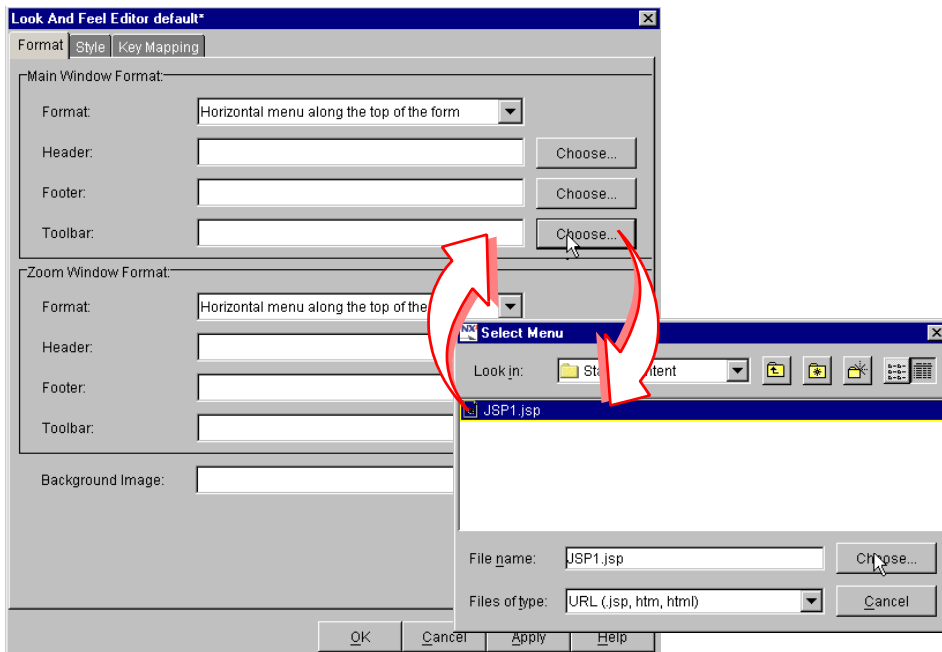
Look and Feel エディタダイアログが表示されます。

- ツールバー、ヘッダ、フッタ フィールドの横の **選択** ボタンをクリックします。

Menu の **選択** が表示されます。

- 作成した .jsp ファイルをダブルクリックします。

選択したツールバー、ヘッダ、フッタのファイル名がフィールドに表示されます。次の画面は、ツールバーフィールドの例を示しています。



4. **OK** ボタンをクリックして、Look and Feel エディタダイアログを閉じます。

あるいは、接続を制限されているフォームのために、使用不可能なボタンの数を制限することも可能です。カスタムツールバーによってこの方法が実現できます。以下の手順で、デザインセンタのプロパティパネルを使用して、カスタムツールバーを個別のフォームに関連させることも可能です。

1. フォームのプロパティタブをクリックします。
プロパティパネルが表示されます。
2. Form セクションの Toolbar、Footer、Header フィールドで、値フィールドをクリックします。
ドロップダウンリストが表示されます。
3. 使用したい .jsp ファイルを選択します。

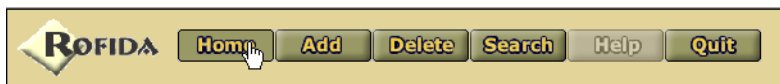
実行時に何がおこるか？

NX^Jアプリケーションが、指定したツールバー、ヘッダ、フッタで実行されます。

注 - もしヘッダやフッタが表示されなかったり、ツールバーのスペースが大きすぎる場合は、タスク 1 のステップ 3 で設定した .jsp ページのサイズを確認します。

JSP ページ上のボタンやリンクは、割り当てられたコマンドを実行します。リンクに割り当てたコマンドはなく、HREF プロパティで定義した値がある場合は、リンクがクリックされると新しいウインドウに URL が開かれます。

イメージボタンやインラインフレームコントロールをロールオーバーソースで作成している場合は、マウスポインタがイメージボタンを“ロールオーバ”した時にソースが表示されます。例では、ツールバーのためにロールオーバーソースがイメージボタンを“インデント”するのを示しています。



使用できないコマンドは、ボタンやボタン上のテキストが使用できないことを示すスティプルで表示されます。アプリケーションでコマンドがその他のコマンドと相反する状態であるとき、NX^Jインタラクショナルサーバによってコマンドは使用できなくなります。例えば、フォームが Find モードであるとき、UPDATE コマンドは使用できません。